

登録コード	A1Y13102	開講年度	2026			
授業科目	新入生ゼミナール				担当教員	三木 敦朗
英文授業名	Seminar for Freshmen					
単位数	2	講義期間	前期	曜日・時限	火曜・4時限	対象学生
講義室	共通教育 5 2 講義室		授業形態	演習	遠隔授業科目	
備考						
信大コンピテンシー	該当					
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素				【授業の達成目標】	
	2 0 2 6アカリ, 2 0 2 5アカリ					
	【2025年度以降カリキュラム対象】1.【教養・基礎学力】 豊かな教養と農学分野における基礎学力が身についている。				大学で学ぶにあたって必要な豊かな人間性と共通教育による幅広い教養を築き、農学の専門分野における基礎学力を身につける。	
(2)授業で学べる「テーマ」	地域運営、環境共生					
(3)全学横断特別教育プログラム						
(4)授業の概要	第1回は、講義全体の概要ガイダンスを行う。第2～4回は、国際農学教育研究センター、図書館、学生相談センター、総合情報センター等によるガイダンスを行う。第5～6回は、大学で自主的な学びを進める上での基礎的な素養や、進路の考えかた、そのための授業の履修について学ぶ。第7,8,12回は、山岳、森林、環境等における課題について学ぶ。第9,13,14回はキャリア（大学での学び、卒業後の進路）について考える。第10～11回は、ラーニングセンターによる交流を行うとともに、コミュニケーションスキルについて学ぶ。第15回では前期を振り返り、総括を行う。 本授業は男女共同参画に関する内容を含んでいます。					
(5)授業計画	第1回 4月14日 ガイダンス、アイスブレイク（三木） 第2回 4月21日 国際農学教育研究センターによるガイダンス（61番講義室） 第3回 4月28日 図書館利用ガイダンス（65番講義室）、こころの健康（eALPS） 第4回 5月12日 アカデミックススキルガイダンス（65番講義室）、情報セキュリティガイダンス（eALPS） 第5回 5月19日 レポート作成とプレゼンテーションの作法1（三木） 第6回 5月26日 レポート作成とプレゼンテーションの作法2（三木） 第7回 6月 2日 山岳圏森林・環境共生学の課題と展望1（池田） 第8回 6月 9日 山岳圏森林・環境共生学の課題と展望2（上原） 第9回 6月16日 伊那キャンパス学生との交流会（ラーニングセンター） 第10回 6月23日 コミュニケーションスキル（61番講義室） 第11回 6月30日 キャリア教育1・伊那キャンパスの学び（三木） 第12回 7月 7日 山岳圏森林・環境共生学の課題と展望3（升本） 第13回 7月14日 キャリア教育2・カリキュラム（安江） 第14回 7月21日 キャリア教育3・進路（安江） 第15回 7月28日 総括、山岳圏森林・環境共生学基礎演習について、授業アンケート（三木）					
(6)自主学習の指針	各回の授業で受けた説明を基に、自身でも図書や文献などを探してより深い理解を進めてください。					
(7)成績評価の基準	小レポート等の課題の実施により基礎的知識の習得等を評価します（100％）。授業で示した初歩的な知識等を習得していれば「水準にある」、応用がきけば「やや上にある」、やや難しい応用問題が解ければ「かなり上にある」、独自の視点をもって理解度が深ければ「卓越している」。					
(8)事前事後学習の内容	教科書、参考書などをもとに、授業内容に関わる部分について予習（事前学習）して来ること。授業後は、配布された講義資料や教科書、参考書などによって復習し、授業内容の再確認（事後学習）を行うこと。1単位当たり、45時間から授業時間を引いた時間量の自主学習時間が課せられているので、担当教員の指示を参考にして自主学習を計画すること。					
(9)テストやレポートの予定	(8)の評価に基づいて実施します。					
(10)成績評価の方法	小テストおよびレポートの内容（テーマ、正しい日本語表現、論理性、図表と引用の適切な使用）、グループディスカッションへの参加態度（積極性、調和性、規律性）、TOIEC-IPテストの点数によって評価します。特に限られた時間を有効に活用し、端的にわかりやすく表現する能力によって評価されます。					
(11)質問、相談への対応および連絡先	各回の担当教員が講義終了後、受け付ける。 メールでの質問等は、以下のアドレスへ（atを@に置き換えてください）。 三木：mikia26（at）shinshu-u.ac.jp					
(12)履修上の注意	・コースの必修科目であるだけでなく、コース教員と直接コンタクトできる貴重な機会です。履修・学生生活に関する相談の場として、必ず全日程に出席してください。 ・授業時間以外にも、自主的に山岳圏森林・環境共生学に関する理解を深めること。 ・各自のノートパソコンを使用する回があります。その都度、事前に通知します。 ・TOEIC-IPテスト（オンライン受験・6月予定）を必ず受験すること。 ・高年次学生からの学修支援があります。					
【教科書】	信州大学新入生ハンドブック2026（ガイダンス時に配布）					

【参考書】	『森林サイエンス』,信州大学農学部森林科学研究会編, ISBN-13: 978-4906529360, 川辺書林, 2003年, 1,980円 『森林サイエンス2』,信州大学農学部森林科学研究会編, ISBN-13: 978-4906529674, 川辺書林, 2011年, 2,096円 『農林業がつくる地域環境と保全技術』, 信州大学田園環境工学研究会編, ISBN-13: 978-4434106422, ほおずき書籍, 2007年, 2,200円 『最新版 大学生のためのレポート・論文術』, 小笠原喜康著, ISBN-13: 978-4065135020, 講談社現代新書, 2018年, 880円 『スタートアップセミナー 学修マニュアル なせば成る!』, なせば成る!編集委員会編, ISBN-13: 978-4903966298, 山形大学出版会, 2017年, 880円 『本を読む本』, M.J.アドラー C.V.ドーレン著, 外山滋比古 槇未知子訳, ISBN-13: 978-4061592995, 講談社学術文庫, 1997年, 1,177円
-------	--